



赤穂東中学校
学校だより
校訓
遵明奉協自
法朗仕同主

若木

第 2 号
2019 年 7 月
編集 校長 色波 亨

学校教育目標

「若木の精神」と「誇り」とし ころ豊かな生徒の育成
～『志』高く、実行力ある、活力ある学校をめざして～



関谷合宿に学ぶ

(1 年生)

6 月 4 日(火)～5 日(水)旧関谷学校で過ごし、大きな学びを体験してきました。晴天にも恵まれ、スコアオリエンテーリングの 200 分を見据えたお茶を開始 15 分過ぎで飲み干してしまいスタート地点に戻ったり、持ってきたつものの荷物が無かったり、いろいろ失敗もあったけど、大きな成長も感じられた 2 日間になりました。講堂学習や集団として生きるための講義を受け、「心」の成長に向かって懸命に学習してきました。

旧関谷学校講堂学習より

人として・人間として…どう生きるか？

しのたま こうげん れいよく すく じん
子日わく、巧言令色、鮮な仁

口先ばかり上手で、心にも無いお世辞を使う人がある。愛想のいい顔つきばかりして表面を飾る人がある。そういう人のほとんどが、本当の優しさや思いやりの心は、持ち合わせていないものだ。

しのたま ぎ み せ ゆう
子日わく、義を見て為ざるは、勇なきなり

人にはみな、人としてしなくてはならないことがある。人としての道とか、社会的責任を果たすといったこと。それが正義だと知りながら、それを実践しないというのは、自己の保全、責任逃れといわれても仕方ない。真の勇者とは、正義のために立ち向かっていく人をいうのだ。頼もしくも慕わしい人である。

学ぶ・思う・考える…何が、どう違う？

しのたま まな おも すなわ くら
子日わく、学んで思わざれば 即ち罔し

おも まな すなわ あや
思うて学ばざれば 即ち殆う

しのたま なえ はい もの
子日わく、苗にして秀でざる者あり

はい みの もの
秀でて実らざる者あり

恕＝心の如し…その心とは？

しこうと い
子貢問うて曰わく、

いちげん もつ しゅうしんこれ おこな もの
一言にして以て終身之を行ふべき者ありや

しのたま そ じよ
子日わく、其れ恕か

おのれ ほつ ところ ひと ほどこ を
己の欲せざる所、人に施すこと勿かれ

1 年生全員で声をそろえて学んだ論語の一説です

※解説文は特別史跡旧関谷学校顕彰保存会編

関谷学校「あいうえお論語」よりの出典です。

勉強になりました。



沖縄県 修学旅行に学ぶ (3年生)

平和学習



ひめゆりの塔は、看護要員として戦場に動員され、亡くなった「ひめゆり学徒隊」の慰霊塔です。献花を行い、祈りました。

「平和の礎」全ての戦没者を追悼し、黙祷を捧げ、恒久平和の希求と悲惨な戦争の教訓を正しく継承し、平和学習の拠点とするため思いをこめて平和宣言を読み上げました。



バス・ホテル・沖縄文化学習



琉球の文化についてバスガイドさんから三線の実演入りで紹介を受け、沖縄文化がとってもお気に入りになりました。

ホテルの食事は、種類も多く、見慣れない食材や、おいしそうなものばかりどれにしようか迷うほど。とってもおいしかった。



2日目の夕食は、楽しみにしていたビーチでBBQ。慣れない手つきで調理開始。みんなでやれば、半生でも焼

きすぎでも、何でもありで超おいしい！腕自慢、味自慢。楽しい一時、思い出のサンセット・ビーチになりました。



みんなで、「カチャーシー」沖縄諸島で、急速なテンポの曲にのせておどる即興の踊り。祝宴や祭りの終わり、競技の応援などに広く行われる。とっても盛り上がりました。楽しかった。

琉球文化の代表格

「エイサー」を体験。



マリン体験・美ら海水族館 ほか

